

自主防災活動 について

防災訓練の実施事例と
活動補助金の活用事例

大分市総務部防災局 防災危機管理課

自主防災組織の役割

自主防災組織とは、地域住民が自主的な防災活動を行う組織です。日常的には、防災知識の普及啓発、防災訓練や地域の防災安全点検の実施、防災資機材の備蓄・点検といった活動に取り組みます。



災害時に求められること

初期消火・住民の安否確認・避難誘導

負傷者の救出救護・災害情報の収集伝達 など

大規模な災害が起こった場合、消防などの防災関連機関の活動が制限される事態が予想されます。

そのような事態に備え、住民が連携し、協力し合って地域の被害を最小限に抑えることが、自主防災組織の役割なのです。



日常の活動内容

地域としての備え

- ・ 防災に関する研修会や講演会
- ・ 地域の災害危険個所の確認点検
- ・ 防災マップの作成
- ・ 図上訓練
- ・ 防災訓練 など



活動の計画を立てましょう

- ・ 地域で話し合い、活動の年間計画を立てましょう
- ・ 防災訓練や研修の日程を決めましょう
- ・ 地域や協力を仰ぐ関係機関と内容を調整しましょう

【校区防災訓練】

同じ校区内の防災組織と合同で訓練をすると、多くの参加者のもと、より充実した内容の訓練をすることができます。



防災訓練

個別訓練

情報収集・伝達訓練
消火訓練
救出・救護訓練
給食・給水訓練
避難所運営（体験）訓練

総合訓練

個別訓練によって習得した技術を総合して行う訓練

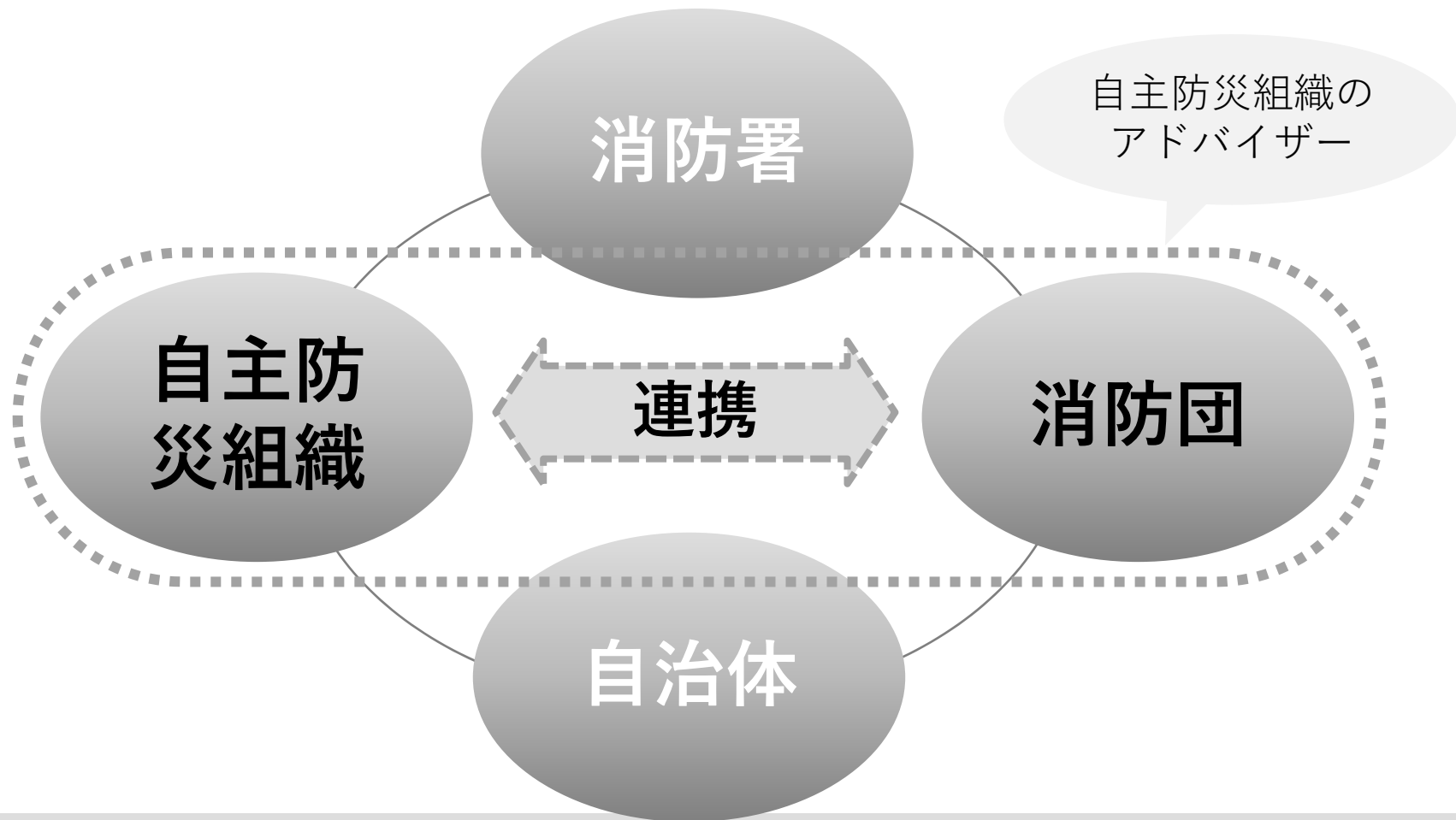
体験イベント型訓練

地域のイベントに防災要素を組み込んで行う訓練

図上訓練

災害に対するイメージトレーニング

消防団と連携しましょう



活動費用について

自主防災組織を運営していくためには、日常的な活動や資機材及び備蓄品の調達等、組織が活動するための財源を確保し、また、限られた財源の中で効果的な活動ができるよう工夫する必要があります。

自主財源の確保とともに、大分市の補助制度を活用し、組織の運営や活動を行うことが重要です。



補助制度を活用しましょう

自主防災組織活動事業費補助金

- ・ 補助対象経費の 1 / 2 の額を補助
- ・ 補助額の 上限は 2 5 万円



補助制度の活用事例



メガホン



発電機



AED



備蓄品



簡易トイレ



防災倉庫

補助制度のポイント

- ・ **購入前に申請**してください
- ・ **防災訓練を実施**してください
- ・ 申請は**年度内に 1 回**のみです

※防災倉庫や防災マップを設置する際は、事前に相談をお願いします。
(各種規制の対象となることがあるため)

【補助対象外】 ・ 訓練参加者に配る既成の食料品や商品、景品
・ 個人宅に倉庫などを設置すること など

校区防災訓練を支援します

同じ校区内の防災組織と合同で訓練をする
と、多くの参加者のもと、より充実した内容
の訓練をすることができます。

防災危機管理課では、校区防災訓練の計画
立案の助言や費用面の支援を行っています。



より充実した活動を

訓練のすすめ方 補助金の活用 など
お困りのことがございましたら、
防災危機管理課 までお問い合わせください

- ・ 訓練に関すること

防災対策担当班 ☎529-7262

- ・ 補助金制度・申請

管理企画担当班 ☎537-5664

